

女性活躍推進事業【広島県】

地域の実情と課題

- ・少子高齢化の進行により、生産年齢人口が減少しており、地域経済の活力低下や県内中小企業における中長期的な人材不足が懸念される中、**県内企業においては、従業員の働きがいの向上を含めた働き方改革の推進や、女性をはじめとする多様な人材を企業経営に活かしていくことが大きな経営課題**となっている。
- ・さらに、新型コロナウイルスの影響により、非正規雇用者をはじめとして女性の離職者が増加傾向にあり、多くの離職者においては早期の再就職を希望しているとともに、家計の収入減等から新たに就職を希望する女性も増加していることから、**これらの女性が速やかに新しい仕事に就くことができるよう就職活動を支援する必要がある。**

事業の特徴

- (1)企業視点事例・女性視点事例・共働き世帯事例における事例種目において、県内の中小企業や県内の働く女性が求める事例テーマを選定したうえで取組事例の収集を行った。
- (2)単県事業で実施する「女性活躍推進モデル企業創出事業」と連携し、当該事業に参加する10社に対し、出前講座として社内風土醸成のAコース及び女性従業員育成のBコースをそれぞれ1回ずつ実施するとともに、女性の活躍促進に密接に関わる男性の育休取得を促進するCコースは一般公募し、5社に実施した。
- (3)新型コロナウイルスの影響を踏まえた子育て世代女性の就職支援事業として、①再就職希望者に対するキャリアコンサルティングの機能強化 ②就職活動中の保育所情報等の提供や託児料の助成 ③職場体験プログラム を実施した。

事業の効果

- (1)先進的な取組事例を新たに8件収集し、発信することで、女性活躍の取組に着手できていない企業に対して「好事例の提示」を行うことができた。
発信事例 計181事例（企業向け103、働く女性向け75、共働き世帯向け3）H29～R3の合計事例掲載Webサイトは、年間約172,000PV獲得（令和3年度）
- (2)A・Bコースについては、女性活躍を進めるために必要な経営層の意識改革が進んでいる企業が対象となったため、レベルの高い講座が実施できた。またCコースについては、参加者の研修に対する満足度が平均90%を超えており、企業個々の課題やニーズに合った講座を実施することができた。
- (3)年間相談者数は、1,103人と目標の920人を上回る利用があった。また、早期就職者数も391人と、目標の280人を上回ったことから、早期再就職に向けた活動の支援を行うことができた。

目的・目標

県内企業の取組事例発信により、女性活躍に向けた他社の取組を見える化することで、経営層の意識改革を促すとともに企業の具体的な取組を研修(出前講座)等により促進し、さらに企業が女性の管理職登用に着手するためのきっかけづくりを行う。

- (1)女性活躍取組先進事例の収集・発信事例数 累計180事例
- (2)出前講座実施企業 30社(回)

再就職希望者に対して、新たな業種や職種にチャレンジするためのキャリアコンサルティングを実施するとともに、就職活動に伴う一時保育等の経費を助成することなどにより制約を取り除き、早期再就職を支援する。

- (3)わーくわくママサポートコーナーの年間相談者数 920人
わーくわくママサポートコーナーを通じた早期就職者数 280人

連携団体

「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」

官民が連携して発足した組織である同会議の構成団体が運営するHP等を通じて広く周知していくとともに、女性活躍やワークライフバランスに係るセミナー・講座等を通じて、本事業で収集した事例を企業や働く女性に対して発信する。

今後の課題

- (1)収集した事例を活用し、県内企業へ女性活躍の取組を進めるとともに、**情報発信に努める必要がある。**
- (2)県内の指導的立場に占める女性の割合は依然として目標には届いていないことから、**確実に登用率につながるような事業内容となるよう再検討し、事業フレームを変更することで、目標達成に繋がるものとしていく必要がある。**また、男性育休取得促進講座については、令和4年4月1日施行の法改正の周知啓発を併せて考え、事業内に組み込むことで、取組促進につなげる必要がある。
- (3)長引く新型コロナウイルスの影響により、女性が再就職を見合わせている様子もあり、相談者の獲得が課題となっている。このため、**新型コロナウイルスの影響により離職した女性や再就職を希望する子育て世代の女性及び就職見合わせ女性等に対し、就職に関する相談・情報提供、職場体験機会の提供などを通じて、女性の再就職を総合的に支援する必要がある。**

事業の概要

(1) 女性活躍の先進事例及び取組ノウハウの見える化

取組事例の収集を行うとともに、女性が働きやすく、働きがいをもって働ける組織に向けた仕組みづくりにおいては、多様な人材がその能力を十分に発揮できるように促す人事制度の構築が重要であることから、人事制度におけるテーマ別のポイントを絞った「人事制度のポイント」パンフレットを作成し、それらを県HPに掲載して、広く発信した。



「人事制度のポイント」パンフレット

(2) 女性活躍支援出前講座

出前講座を実施するとともに、令和3年7月に広島県と株式会社サンフレッチェ広島において「女性の活躍推進に関する連携協定」を締結し、女性活躍に不可欠な男性の育休取得促進を図るため、(株)サンフレッチェ広島を“広島県イクメン推進アンバサダー”に任命し、機運醸成を図ることとしており、サンフレッチェ広島レジーナの試合会場において、Cコースの情報と男性育休取得促進啓発チラシを一体型にしたチラシを作成し、配布した。



← 募集チラシ
(男性育休取得促進)

(3) 新型コロナの影響を踏まえた女性の再就職支援事業

新型コロナの影響を踏まえた子育て世代女性の就職支援事業として次のような取組を行った。

① 再就職希望者に対するキャリアコンサルティングの機能強化

「わーくわくママサポートコーナー」(広島・福山・Web)に4名の女性相談員を配置するとともに、オンラインでの相談対応を行うなど個別キャリアコンサルティング機能を強化し、早期再就職を希望する女性にきめ細やかな相談対応を行った。



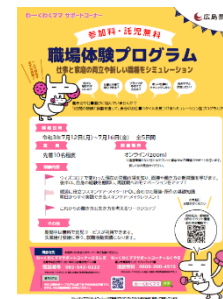
わーくわくママサポートコーナーHP

② 就職活動中の保育所情報等の提供や託児料の助成

就職活動中に子供の一時預け先を確保する必要がある相談者に対して、保育所情報等を提供するとともに託児に要する経費の助成(雇用保険受給者を除く)を行った。

③ 職場体験プログラムの実施

離職後のブランクに対する不安や、家庭と仕事との両立に対する不安を解消するため、研修とインターンシップで構成する5日間程度の職場体験プログラム(ビジネスの基礎やマナー、コミュニケーション等に関する研修及び協力企業での職場体験)を実施し、働くことに対する後押し支援を行った。



← 職場体験プログラム
募集チラシ